

分科会予算調査報告書(平成29年度当初予算)

平成27年度決算審査評価事業

(文教厚生分科会 No.1)

(所属課, 事業コード) 事業名	(保健センター, 5633) 救急医療対策経費		
予算額	平成27年度	154,874千円	
	平成28年度	85,186千円	前年度比 69,688千円 減
	平成29年度	101,263千円	前年度比 16,077千円 増
決算評価	拡充		
<p>【予算増減理由】 <目的に対する予算の必要性> 安定的な二次救急医療体制を確保するために、特に二次救急病院運営補助事業と、運営に必要不可欠な循環器等の医師の確保(1,800万円)のための財源を、当初予算から確保することとした。また、医療講座寄附金(1,775万円)についても取組むこととした。</p> <p>【決算審査における検討点, 争点】 <事業目的に対する内容の造り込み> 鹿嶋市としては、現行の救急医療対策事業を継続しつつ、筑波大学をはじめとする医科大学との連携により医療講座寄附金制度を活用し、市内医療機関に指導的役割を担う常勤医師派遣を目指すこととしている。</p> <p>【予算に生かされた点】 <得ようとする効果, 改善が見込まれる点> 医師不足解消と救急医療体制整備を目的とし、市内医療機関における不足診療科の医師確保に努めているところではあるが、今後も継続的に、医師確保に重点をおいた総合的な救急医療対策を実施することで、安定的な医療提供を担保していく。</p> <p>【調査結果】 救急医療は市の重要な課題である。市内の二次救急医療の確保のためにも、引き続き、医療講座寄附金制度含めた救急医療対策事業に取り組むことで、医療レベルの底上げと地域医療の安定的供給に努めるものである。</p>			